

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)					外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)	
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)		目標値 (年度)
1	Leading City 岸和田プロジェクト	自治基本条例の啓発・普及	自治基本条例の趣旨普及						講座等により条例を学習した市民の数	なし	90人 (H27)	0人 (H28)	138人 (H29)	8,450人 (H31)	・中学校での実績は評価できる。しかし、小中学校との連携を強化し、継続的な取組となるように努めるべき。 ・小中学校のカリキュラムに組み入れることや、給食等の時間を有効活用してデジタル教材による啓発を行ってはどうか。 ・市民フェスティバル等のイベント時にブースを設けて啓発することや、テレビ岸和田でデジタル教材を放映することを検討してはどうか。
			条例普及マンガの作成(市立産業高等学校の生徒による作成)												
			デジタル教材・プリント教材の作成												
2	出産・子育て支援プロジェクト	安心して出産できる医療体制の整備	市民病院における産婦人科の充実						分娩数	58件 (H26)	146件 (H27)	117件 (H28)	131件 (H29)	690件 (H30累計)	特になし
3	出産・子育て支援プロジェクト	妊産婦・新生児・乳児への訪問・相談	ママにっこり相談、フォロー訪問指導の実施						相談件数	なし	なし	923件 (H28)	1,649件 (H29)	900件	・相談件数は需要により変動するものと考えられるが、ニーズに応じたサービスが提供できており、着実に増加している点が評価できる。 ・KPIの上方修正を検討するべき。
4	出産・子育て支援プロジェクト	健診未受診者に対する訪問	乳幼児健診未受診者家庭を訪問						未受診者訪問割合	なし	100% (H27)	100% (H28)	100% (H29)	100% (H31)	・毎年度、100%を維持している点が評価できる。引続き、漏れの無い取組が必要。
5	出産・子育て支援プロジェクト	子どもの医療にかかる費用に対する助成対象者を拡充	対象年齢の拡充						子育て家庭の不安や負担の軽減対策に対する市民の満足度 (市民意識調査の満足度調査の数値を指標として活用。満足度とは、満足率(『満足』『まあ満足』と回答した人の割合)から不満率(『不満』『やや不満』と回答した人の割合)を差し引いた数値。)	-15.5% (H26)	-10.2% (H28)	-10.6% (H29)	-10.7% (H30)	0.5%改善 (-15.0%) (H31)	・子育て世代のニーズが高く、重要な取組であるため、現状維持が必要である。 ・助成対象や助成内容などの拡充以外に、KPIのさらなる改善は難しいと考えられる。
				子育て家庭の不安や負担の軽減対策に対する市民(20~40代)の満足度	-20.9% (H26)	-14.5% (H28)	-13.0% (H29)	-14.0% (H30)	0.5%改善 (-20.4%) (H31)						
6	出産・子育て支援プロジェクト	様々なニーズに対応する保育環境の整備	教育・保育施設の整備						保育所待機児童数	42人 (H27.4.1)	31人 (H28.4.1)	23人 (H29.4.1)	38人 (H30.4.1)	0人 (H31)	・待機児童数が増加しており、対策が急務である。 ・KPI「病児保育施設の利用登録者数」については順調に増加しており、引き続き積極的な周知が必要。
			民間保育施設の運営支援						特別に保育を要する児童にかかる保育士の人数	1/3人 (H26)	1人 (H27)	8人 (H27)	8人 (H27)	1人 (H27)	
			病児保育事業の実施						障がい児受入増加数	265人 (H27)	265人 (H27)	318人 (H28)	303人 (H29)	8人 (H27)	
			チビッコホーム増設による定員拡大						病児保育施設の利用登録者数	216人 (H27)	109人 (H28)	83人 (H29)	106人 (H30)	350人 (H31)	
7	教育環境充実プロジェクト	児童生徒への支援体制の充実	心理カウンセラー(5名)の配置						小学校における不登校児童の割合	0.6% (H26)	0.7% (H27)	1.0% (H28)	1.1% (H29)	0.4% (H30)	・KPIはいずれも基準値より悪化(前年度比でも悪化)しているが、KPI達成のための実施内容としては適切である。今後も、継続的な取組が必要。 ・KPI「小中学校におけるいじめ解消率」について、積極的な認知の実施と「いじめ解消」の定義変更のため、下方修正も含めて適切な目標値の再設定について検討が必要。
			エスパー指導員の配置						中学校における不登校生徒の割合	4.1% (H26)	4.4% (H27)	4.5% (H28)	5.4% (H29)	2.6% (H30)	
			スーパーバイザー(精神科医)の配置						小中学校におけるいじめ解消率	72% (H26)	94% (H27)	84% (H28)	36% (H29)	100% (H30)	
			スクールロイヤーの配置												
			スクールカウンセラーの配置												
			スクールソーシャルワーカーの配置												
			子ども支援員の配置												
			幼稚園支援コーディネーターの配置												
			スクールサポーターの配置												
8	教育環境充実プロジェクト	特別支援教育の充実	特別支援教育支援員・介助員の増員						小中学校における支援学級等支援者(介助員+特別支援教育支援員)の数	26人 (H27)	26人 (H27)	34人 (H28)	34人 (H29)	70人 (H31)	特になし
9	教育環境充実プロジェクト	外国語教育の充実	外国人指導助手(ALT)の配置						英語の学習が好きと答える生徒(小学生)の割合	33.9% (H25)		45.6% (H28)	41.0% (H29)	43% (H30)	特になし
			小学校英語教育研修の支援						英語の学習が好きと答える児童(中学生)の割合	21.4% (H25)		26.4% (H28)	27.0% (H29)	31% (H30)	
10	教育環境充実プロジェクト	学校園における情報教育システムの構築	小・中学校情報システムの構築						小中学校1クラスあたりのICTを活用した授業の時間数(週平均)	約1時間 (H26)	1.37時間 (H27)	1.67時間 (H28)	1.85時間 (H29)	5時間 (H30)	特になし
			小・中学校におけるICTを活用した情報教育の研究・推進						算数・数学の学習が好きと答える児童(小学生)の割合	57.5% (H27)	63.1% (H28)	60.1% (H29)	70% (H31)		
11	教育環境充実プロジェクト	市立学校園へのクーラーの設置	小中学校及び幼稚園空調整備官民連携手法導入可能性調査						学校園普通教室クーラー整備率	0% (H27)	0% (H28)	0% (H29)	100% (H30)	100% (H30)	特になし
			官民連携手法(DBO方式)導入手続き、事業者の募集、選定、契約協議												
			官民連携手法(DBO方式)による設計・工事等(平成30年8月末竣工予定)												

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)					外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)						
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)		目標値 (年度)					
12	教育環境充実プロジェクト	中学校給食の実施	中学校給食の実施						市内全中学校に、安心・安全な学校給食を提供する。						<ul style="list-style-type: none"> ・よりの確なKPIについて検討が必要。 ・学力と生活習慣は一定の相関があるとされており、生活習慣の一部として食育について教育した時間をKPIとしてはどうか。 ・給食に対する親の満足度、遅配・欠配の有無をKPIとしてはどうか。 ・安心・安全な学校給食を提供する観点から言えば、他市の取組として市民向けに学校給食を試食してもらおうというものが、これは安心や安全を周知する手段となりえる。 ・地場農産物の利用について、子どものときから泉州野菜を知ってもらうことは重要であるため、積極的に推進したほうがよい。 					
			地場農産物利用のための調整																	
13	教育環境充実プロジェクト	市立産業高等学校市民公開講座(アーチェリー講座)の実施	市民公開講座(アーチェリー講座)の実施					講座参加者数	なし	7人(H27)	15人(H28)	20人(H29)	20人(H31)	<ul style="list-style-type: none"> ・着実にKPIの実績値を向上させ、目標値を達成できた点が評価できる。 ・KPIの上方修正を検討すべき。 						
14	みんなで支えあいプロジェクト	みんなが集える居場所づくり支援を検討	活動の立上げに際して、民間助成金の紹介を行うなど自主的な財源確保を支援(社会福祉協議会と連携)						リビング立上げ支援件数	なし	6件(H28)	5件(H29)	5件/年	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、目標値を達成し、取組として定着できている点が評価できる。また、地域内でのつながりを強化し、地域自治の推進に重要であるため、継続した取組が必要。 ・KPIの上方修正を検討すべき。 						
			活動強化に向けた手法の検討																	
15	まちの拠点形成プロジェクト	公共交通のあり方を検討、利便性を向上	路線バス・コミュニティバスにICカード等導入の支援						市内で運行されているバスの1日平均乗車人数	3827人(H26)	3,861人(H27)	3,691人(H28)	3,612人(H29)	4100人(H30)	特になし					
			交通まちづくりアクションプラン策定						生きがいを感じている65歳以上の市民の割合	52.6%(H27)	51.5%(H28)	47.3%(H29)	49.3%(H30)	56%(H31)						
			プランに基づく事業の実施						高齢者が安心して生活できていると感じている市民の割合	18.1%(H27)	20.7%(H28)	21.1%(H29)	22.2%(H30)	22%(H31)						
16	まちの拠点形成プロジェクト	JR阪和線東岸和田駅付近の鉄道高架化の実現	上下線高架化に向けた取組の実施					踏切による交通遮断時間(市道並松上松線)	9.8時間/日(H21)	6.7時間/日(H26(下り線高架後))	6.7時間/日(H26(下り線高架後))	0時間/日(H29)	0時間/日(H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通りにKPIを達成できた点が評価できる。 ・KPIの達成により、「高架化に伴う周辺道路等の整備」に対応する新たなKPIの設定が必要。 ・「高架化に伴う周辺道路等の整備」に対応するKPIとして、その進捗率を検討してはどうか。 						
			高架化に伴う周辺道路等の整備						踏切による交通遮断時間(府道岸和田港塔原線)	9.6時間/日(H21)	5.2時間/日(H26(下り線高架後))	5.2時間/日(H26(下り線高架後))	0時間/日(H29)		0時間/日(H29)					
17	まちの拠点形成プロジェクト	春木駅・久米田駅周辺の利便性を向上	春木駅周辺まちづくり基本構想の策定					春木駅の1日平均乗車人員	7,558人(H26)	7,662人(H27)	7,614人(H28)		7,630人(H30)	特になし						
			春木駅周辺まちづくり基本構想に基づく事業の実施(駅周辺道路の整備、市有地の有効活用等)																	
			久米田駅周辺まちづくり基本構想の策定													久米田駅の1日平均乗車人員	6,899人(H26)	6,926人(H27)	6,827人(H28)	6,960人(H30)
			久米田駅東西アクセス改善基本構想の策定																	
久米田駅東西アクセス改善基本構想に基づく事業の実施(駅周辺道路、西側改札の整備等)																				
18	まちの拠点形成プロジェクト	グリーンビレッジ構想の推進	岸和田グリーンビレッジ形成計画策定					まちづくり(育て)活動実施回数	2回(H26)	4回(H27)	5回(H28)	4回(H29)	15回(H31累計)	特になし						
			人材・ネットワークの育成						市外からの参画団体(企業・世帯)	4団体(H26)	5団体(H27)	2団体(H28)	2団体(H29)		22団体(H31累計)					
			地域資源を活かした産業の創出						まちづくり(育て)活動参画団体数	10団体(H28)		4団体(H29)	50団体(H32累計)							
			拠点を支える基盤づくり						農業体験参加者数	10人(H28)		0人(H29)	60人(H32累計)							
竹有効活用に係るネットワーク組織への参画企業・団体数							14団体(H28)		0団体(H29)	15団体(H32)										
19	まちの拠点形成プロジェクト	丘陵地区内に農業拠点の形成	次世代施設園芸拠点構想の策定					農業参入希望者数(農地購入または賃貸借)	なし	77件(H27)	85件(H28)	93件(H29)	100件(H31)	特になし						
			岸和田フードバレー計画の推進																	
			補足水源調査																	
			竹木の有効活用方策検討																	
20	まちの拠点形成プロジェクト	木材港の充実	木材コンビナート及び貯木場への立地ニーズ等調査・分析、関係機関との調整・PR等						未設定					特になし						
21	まちの拠点形成プロジェクト	山手地区のまちの姿を検討	地域の拠点づくり構想の検討					住民による地域のまちづくりを考える検討会の開催回数(参加人数)	なし	2回(31人)(H27)	6回(66人)(H28)	9回(72人)(H29)	15回(225人)(H31累計)	<ul style="list-style-type: none"> ・着実にKPIの実績値を向上させ、目標値を達成できた点が評価できる。 						
			地域のエリアマネジメント方策の検討																	
22	まちの拠点形成プロジェクト	泉州山手線沿道のまちの姿を検討	沿道まちづくり方針の策定					地元関係者等への意見聴取、ワークショップ等の開催	なし	3回(H27)	9回(H28)	11回(H29)	5回(H31累計)	<ul style="list-style-type: none"> ・着実にKPIの実績値を向上させ、目標値を達成できた点が評価できる。 ・KPIの達成により、アウトカムの視点からのよりの確なKPIの検討が必要。 						
			沿道まちづくり構想の策定(まちづくり基本調査など)																	
			事業化に向けた具体的な検討(区画整理事業調査など)																	

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)					外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)	
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)		目標値 (年度)
23	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	創業しようという者を支援	創業時の店舗等改装工事を補助						創業実現件数	なし	11件 (H27)	13件 (H28)	12件 (H29)	100件 (H31累計)	・実施内容「創業時の店舗等改装工事を補助」が平成30年度から廃止となっているが、それでもKPIは達成できるのか。 ・創業セミナーの開催は以前から行っているため、補助金の廃止に代わる新たな支援策を講じるべき。また、それに対応する新たなKPIについても検討すべき。 ・実施内容「創業時の店舗等改装工事を補助」は、商店街など空き店舗を利用して創業する者を主にイメージするため、例えば自宅で創業する者も含める形で、ニーズにあった内容であるか再検討が必要である。また、補助金以外の支援策を講じるとしても、やはり商店街以外において創業する者が積極的に利用できるよう検討すべき。 ・補助金はやはり効果的な支援策であるため、これまでの金額でなくとも1/2補助や1/3補助といった形でも残したほうが良いかもしれない。
			創業支援ネットワークによる創業支援(創業セミナー、創業個別相談の実施)の実施												
24	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	市内企業への就労機会の拡大	関係機関との連携による地元企業説明会の実施						合同企業説明会参加者数	なし		51人 (H28)	68人 (H29)	200人 (H31累計)	特になし
25	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	青年新規就農者の育成	農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)を給付						給付金申請者数	0人 (H26)	3人 (H27)	4人 (H28)	1人 (H29)	8人/年	・多くの就農者による活用が図られるよう、周知していくべき。
26	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	産業振興制度の活用を促進	国・府・市支援制度の周知						企業への支援制度周知のための訪問件数	なし	76件	0件	0件	1,000件 (H31累計)	・事業者向けに「国・府等による支援制度一覧表」を作成し、関連情報が確認できるようにしたことは評価できる。 ・KPI「岸和田市企業支援メールマガジンの配信件数」について、配信が原則月1回で、実績値が受信者数の累計を計上しているのであれば、KPI名の表現が不適切である。よって、「メールマガジンへの登録事業者数」等に改めるべき。 ・KPI「企業への支援制度周知のための訪問件数」が平成28～29年度は0となっているが、これは今後実施しないのか。
			支援制度説明会等のセミナー開催						岸和田市起業支援メールマガジンの配信件数	なし	0件	287件	1,111件	3,500件 (H31累計)	
			企業支援メールマガジンの配信												
27	「ひと」を育て、「まち」を元気にP	産業人材の確保・育成を支援	市内企業が、遠方(近畿圏に限る)の合同企業説明会等に参加する際の費用を助成						市外の合同企業説明会参加企業数	なし		1社 (H28)	1社 (H29)	32社 (H31累計)	特になし
			市内企業が研修会等を開催または受講する場合の経費に対し補助						人材育成取組事業所の数	なし		3社 (H28)	4社 (H29)	52社 (H31累計)	
28	「ひと」を育て、「まち」を元気にプロジェクト	「岸和田ブランド」品の販売促進	岸和田ブランドの販路拡大						催事等への出展回数		7回 (H27)	13回 (H28)	17回 (H29)	50回 (累計)	特になし
29	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	シティセールスプランの策定・推進	シティセールスプランの策定						「居注意欲度」府内順位	13位 (H26)	12位 (H27)	18位 (H28)	11位 (H29)	5位 (H31)	・市インスタグラムの活用は、主に若者向けに有効と言える。
			プランに基づく事業の実施						岸和田市は誇れるまちであると感じている市民の割合	53.5% (H27)	52.8% (H28)	53.4% (H29)	50.2% (H30)	55.0% (H32)	
30	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	市民みんなで岸和田をPR	職員によるSNSを活用した情報発信						投稿写真等に付けられた「いいね！」の数	なし			11,342件 (H29)	24,000件 (H31)	特になし
			市民によるSNSを活用した情報発信の促進						ハッシュタグ「岸和田MODE」を付けて投稿された写真等の数	なし			1,380件 (H29)	500件 (H31)	
31	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	きしわだアートプロジェクトの推進	アートによるまちの魅力創造						事業の参加者のうち、ターゲットとなる年代の人数	357人 (H26)	573人 (H27)	5,833人 (H28)	367人 (H29)	500人 (H30)	・アウトリーチ事業として積極的な活動は評価できる。 ・文化芸術のイベント等は単発で実施するより、他イベントの主催者等と有機的な連携をしたほうが効果的である。
				事業実施回数	2回/年	3回 (H27)	3回 (H28)	4回 (H29)	2回/年						
32	岸和田のええとこ教えちゃろプロジェクト	スポーツ振興の推進	岸和田市スポーツ推進計画の策定						週1回以上、運動・スポーツを実施する市民の割合	32.9% (H26)	32.5% (H28)	32.2% (H29)	31.3% (H30)	35.0% (H32)	特になし
			計画に基づく事業の実施												
			ワールドマスターズの大会競技(BMX競技)の誘致												
			大会競技開催に向けた準備(受入体制構築や情報発信等)												

No	プロジェクト名	取組名	実施内容	H27	H28	H29	H30	H31	KPI(重要業績評価指標)					外部有識者の意見 (岸和田市総合戦略に係る事業効果検証等会議における意見)			
									指標内容	基準値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)		目標値 (年度)		
33	岸和田のええとこ教え ちゃろプロジェクト	まち歩き観光の推進	インバウンド誘致観光動画の作成							だんじり会館来館者数	36,433人 (H26)	36,394人 (H27)	31,712人 (H28)	34,415人 (H29)	37,000人 (H30)	特になし	
			だんじり3D映像の作成								岸和田城入場者数	43,397人 (H26)	41,345人 (H27)	38,165人 (H28)	41,565人 (H29)		45,000人 (H30)
			動画等を活用したPRの実施								訪日外国人における泉州の認知度	14.8% (H28)	14.8% (H28)	13.0% (H29)			20.0% (H29)
			近隣市町等との連携で実施する観光情報発信や受入環境整備等による誘客促進								着地型観光のコース形成	0コース (H28)			0コース (H29)		5コース (H29)
34	地域の安心・安全プロジェクト	防犯カメラの設置	防犯カメラを設置する町会等への補助							防犯カメラの設置箇所	72箇所 (H26)	112箇所 (H27)	167箇所 (H28)	220箇所 (H29)	277箇所 (H30)	特になし	
35	地域の安心・安全プロジェクト	市内木造住宅の耐震化	耐震化に関する啓発・広報活動							耐震診断補助戸数	69戸 (H26)	66戸 (H27)	80戸 (H28)	43戸 (H29)	50戸/年	特になし	
			耐震診断・耐震改修工事費に対する補助金の交付							耐震改修工事(耐震シェルター含む)補助戸数	24戸 (H26)	29戸 (H27)	27戸 (H28)	16戸 (H29)	40戸/年		
			耐震シェルター設置費に対する補助金の交付							除却補助戸数	3戸 (H26)	13戸 (H27)	21戸 (H28)	17戸 (H29)	20戸/年		
			旧耐震基準(昭和56年5月以前)の木造住宅の除却費に対する補助金の交付														
36	地域の安心・安全プロジェクト	空家対策の推進	空家等対策計画の策定							未設定					<ul style="list-style-type: none"> ・対策計画の策定により空家等の数が判明したため、それに基づく実施内容とKPIの設定が必要。 ・空家等は今後も増加すると考えられるため、それに応じて実施内容やKPIも見直していく必要がある。 ・空家等の利活用という視点から、実施内容やKPIの設定を検討すべきである。特定空家等になる前に、有効に利活用をしてもらうことが重要。 		